

2) 鉄道被害

鉄道についても道路被害の想定と同様に、震度分布図および液状化危険度分布図との重ね合わせより、緊急輸送の機能障害の可能性を評価している。

奈良県においては、観光、行楽シーズンに多くの人々が県内各地を訪れており、地震の発生時期によっては、通常の輸送人員を大きく上回る人々に影響が及ぶ可能性もある。

ア) 鉄道被害（内陸型地震：奈良盆地東縁断層帯）

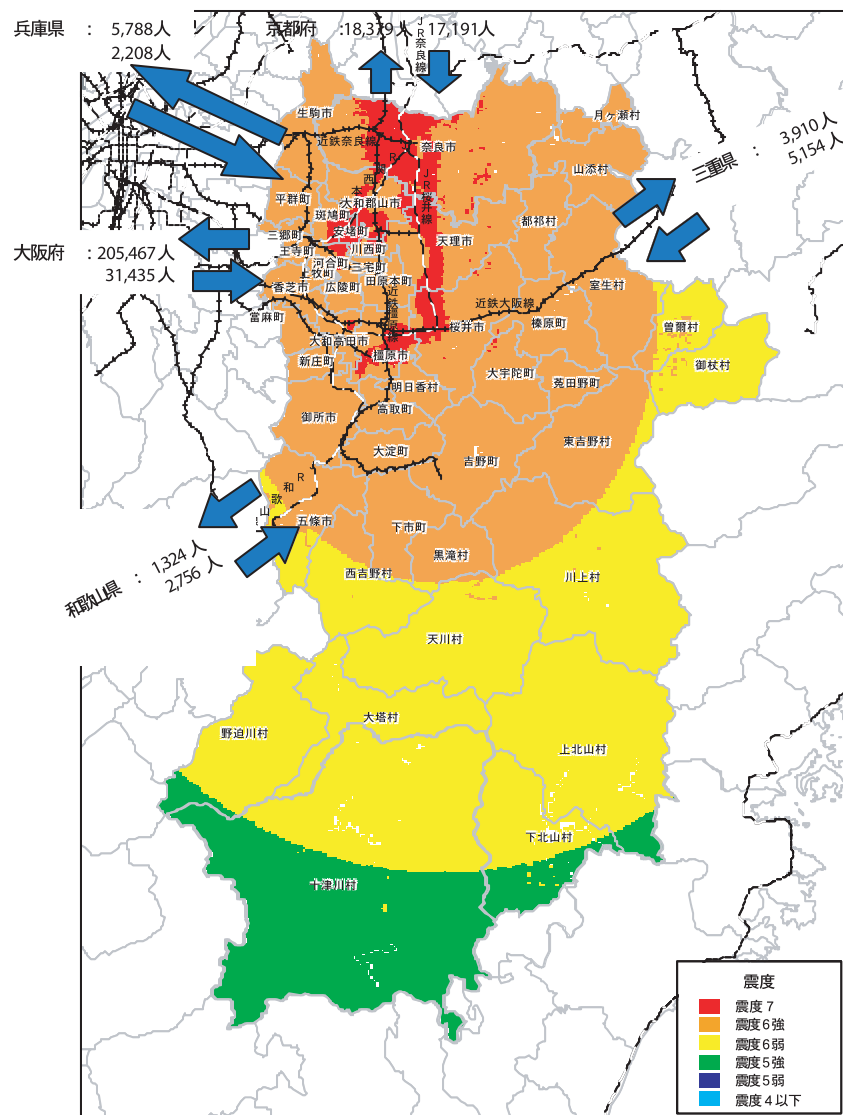
①地震動

震度7の地域に沿ったJR桜井線、近鉄奈良線、近鉄橿原線、近鉄大阪線が被害を受ける可能性が高い。また、同じく被害の大きい大和郡山市、安堵町付近を通過するJR関西本線にも被害が及ぶものと考えられる。

盆地部の鉄道網は、線路、駅舎に大きな被害を被り、部分的には復旧にも相当の時間を要すると考えられる。

盆地部の鉄道網が寸断された場合には、京都、大阪、名古屋方面への旅客輸送に大きな支障が出る。

鉄道路線と奈良盆地東縁断層帯の震度分布図



(参考) 奈良県内外の通勤・通学者の移動

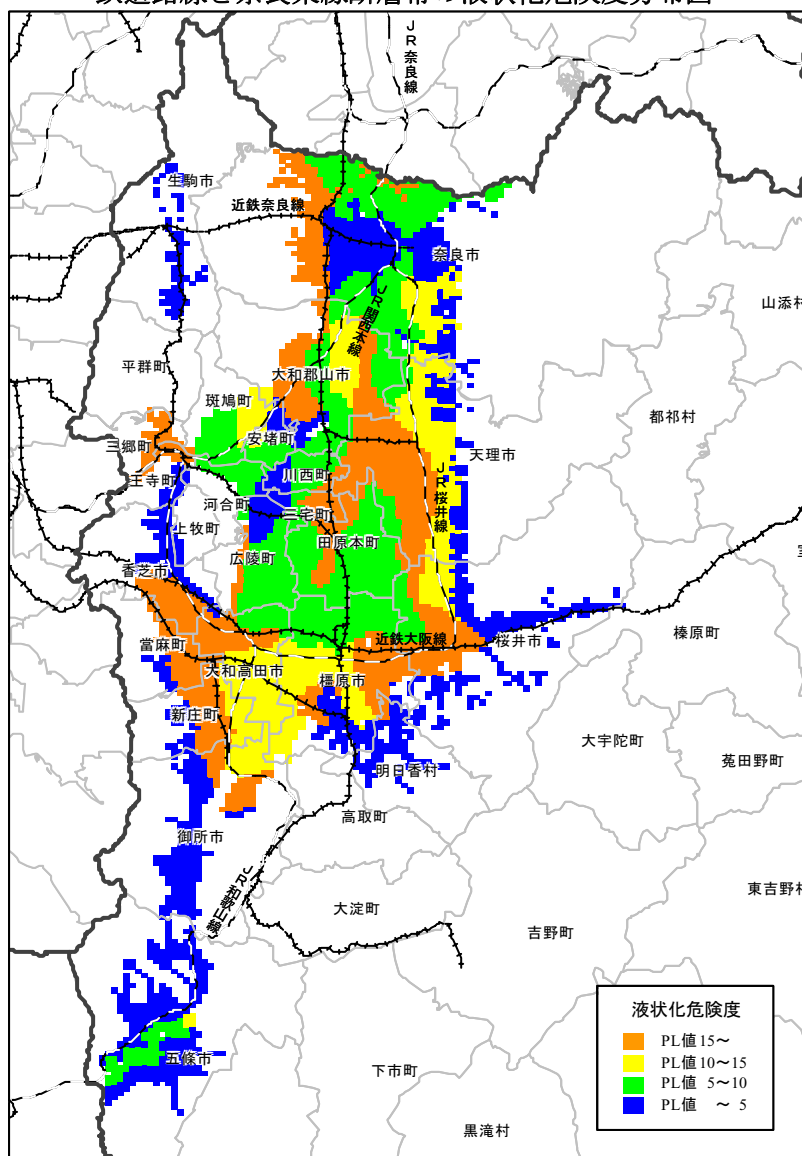
府県名	①県内 → 県外	②県外 → 県内
大 阪 府	205,467	31,435
京 都 府	18,379	17,191
兵 庫 県	5,788	2,208
三 重 県	3,910	5,154
和 歌 山 県	1,324	2,756
計	234,868	58,744

(出所) 国勢調査2000年 (単位: 人)

②液状化

液状化危険度の高い (PL 値 15 超) エリアに沿った近鉄橿原線・大阪線・南大阪線、J R 関西本線・桜井線等において被害が発生する可能性が高い。

鉄道路線と奈良東縁断層帯の液状化危険度分布図

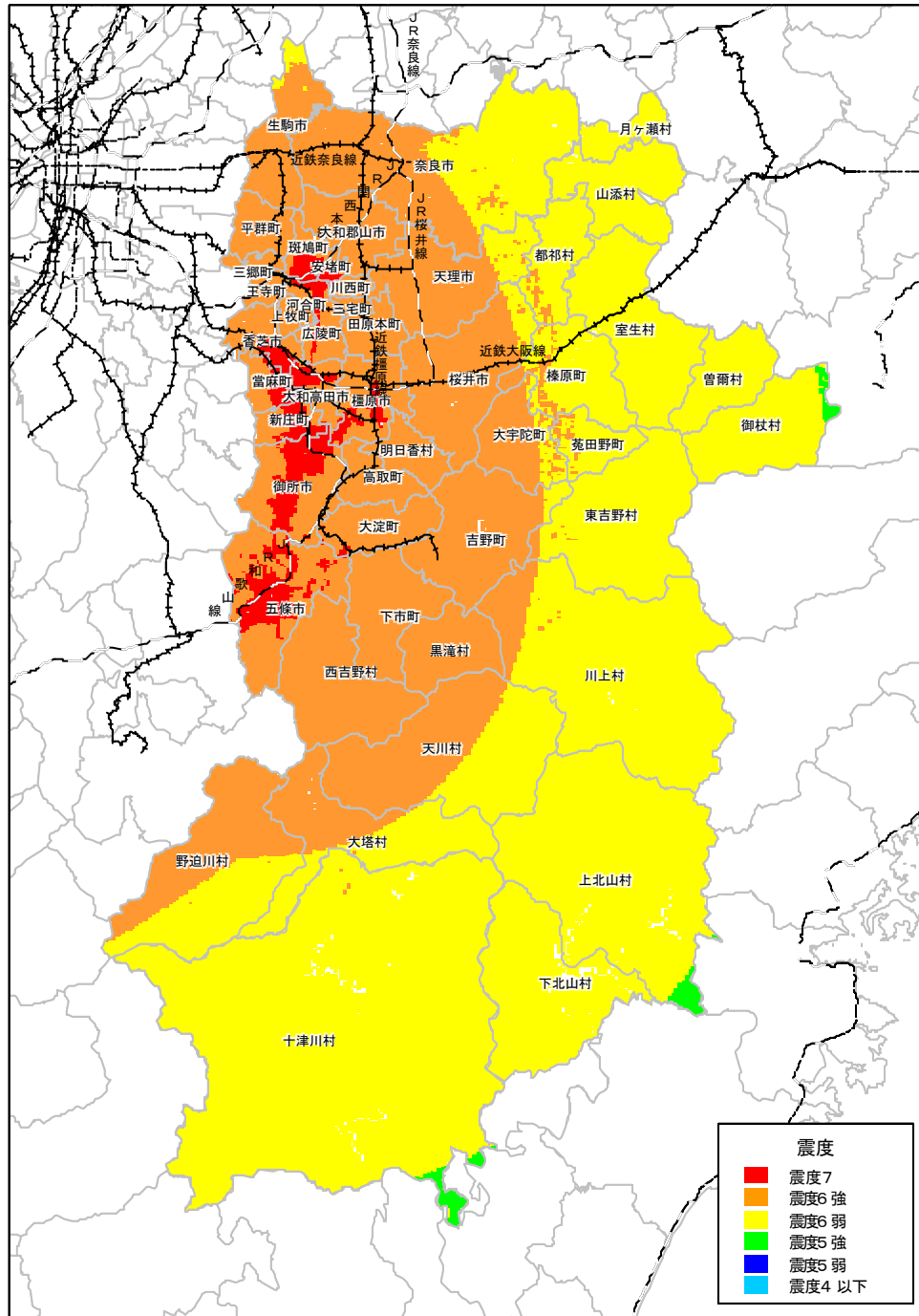


イ) 鉄道被害（内陸型地震：中央構造線断層帯地震）

①地震動

震度7のエリアに沿ったＪＲ関西本線・桜井線・和歌山線、近鉄大阪線・南大阪線にも被害が及ぶと考えられる。

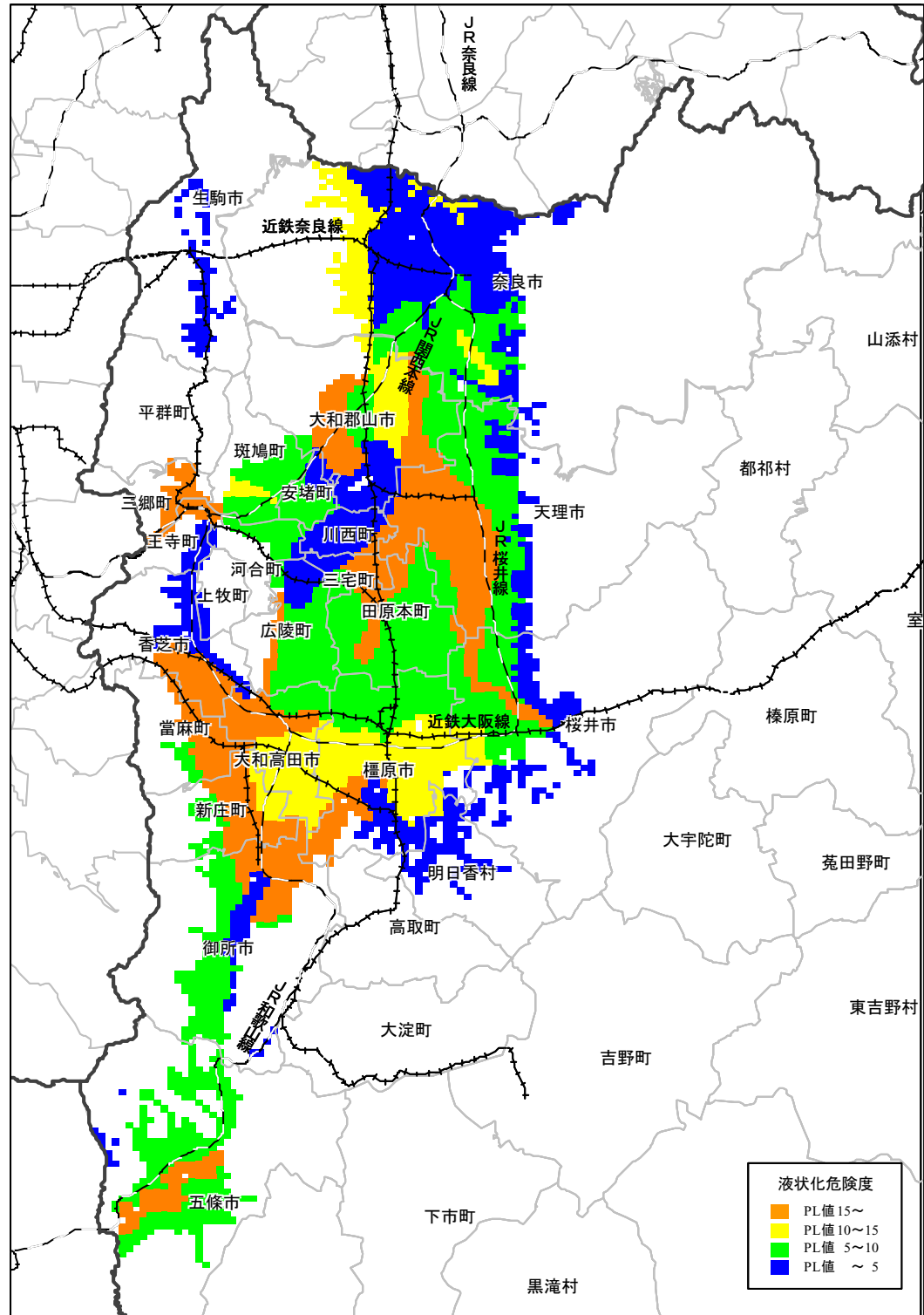
鉄道路線と中央構造線断層帯の震度分布図



②液状化

液状化の危険度の高い（PL 値 15 超）地域に沿った近鉄橿原線・大阪線・南大阪線、J R 関西本線・桜井線・和歌山線等において被害が発生する可能性が高い。

鉄道網と中央構造線断層帯の液状化危険度分布図

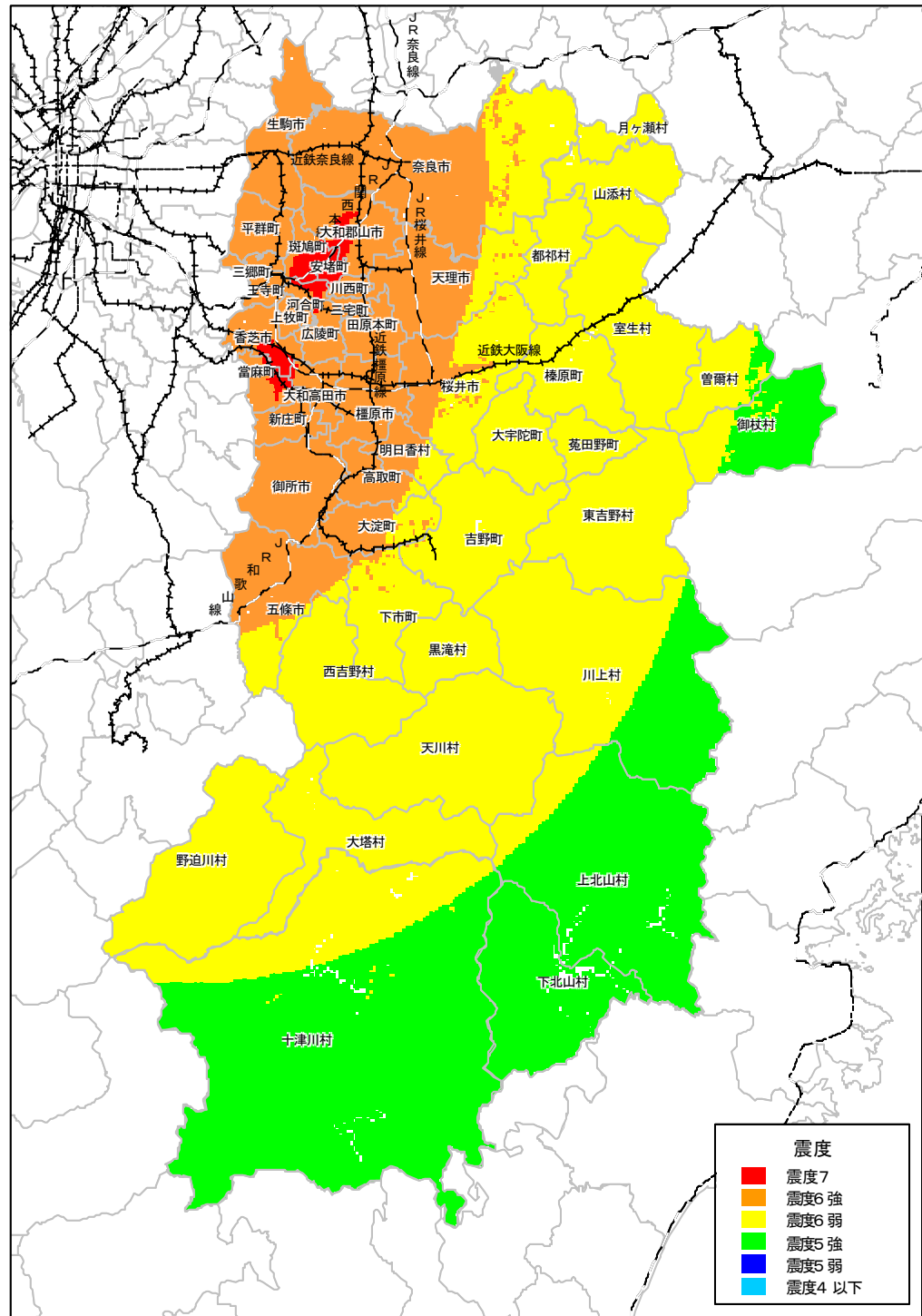


ウ) 鉄道被害（内陸型地震：生駒断層帯地震）

①地震動

震度7のエリアである大和郡山市・安堵町・斑鳩町付近を通過するＪＲ関西本線・和歌山線、近鉄大阪線・南大阪線が被害を受ける可能性がある。

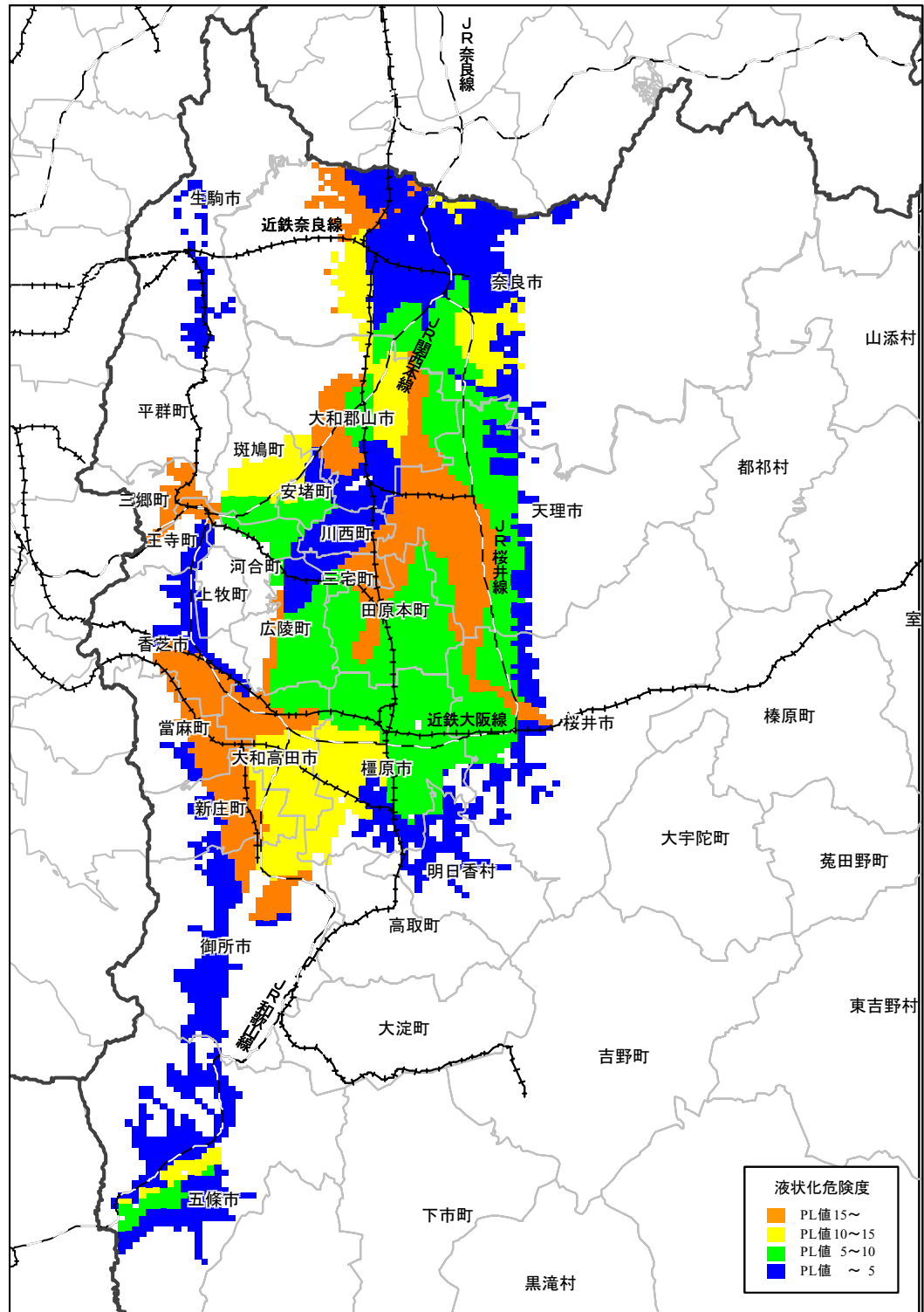
鉄道路線と生駒断層帯の震度分布図



②液状化

液状化危険度の大きい（PL 値 15 超）エリアに沿った近鉄橿原線・大阪線・南大阪線、J R 関西本線・桜井線・和歌山線において被害が発生する可能性がある。

鉄道路線と生駒断層帯の液状化危険度分布図



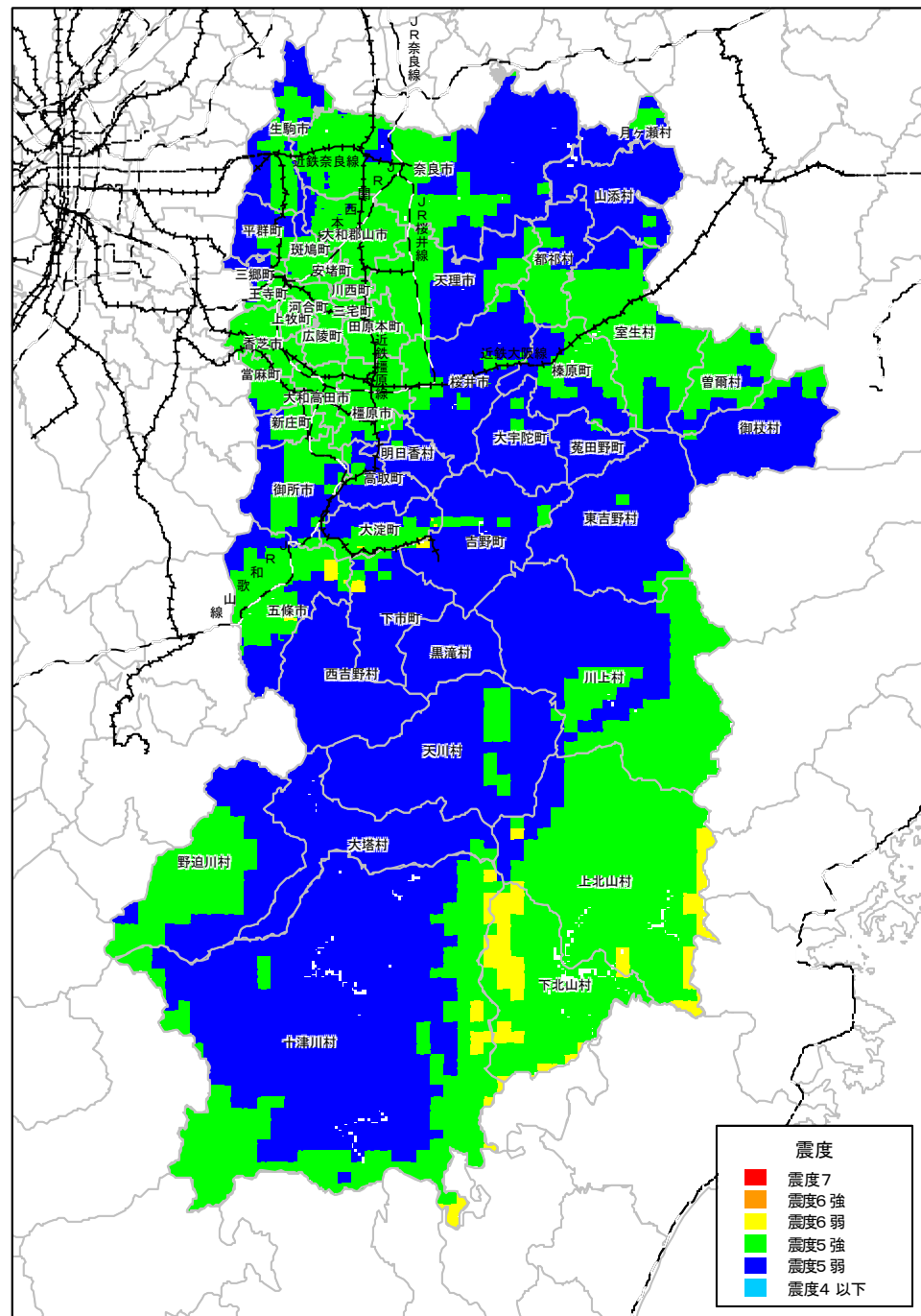
エ) 鉄道被害（海溝型地震：東南海・南海地震同時発生）

①地震動

鉄道が通過するエリアは、揺れがいずれも震度5強以下であることから、地震動により鉄道ネットワークに深刻な被害が発生する可能性は少ない。

しかし、J R及び近鉄は、震度5弱以上の地震が発生した場合、一旦運転を中止し、線路等の安全確認を実施するとしており、運行見合せや施設の点検等のために、奈良県から他府県、他府県から奈良県内への帰宅が困難になり、多くの帰宅困難者が発生する可能性がある。

鉄道路線と東南海・南海地震同時発生の震度分布図



②液状化

液状化危険度の大きい（PL 値 15 超）エリアに沿った近鉄橿原線・南大阪線、J R 桜井線等において被害が発生する可能性がある。

鉄道路線と東南海・南海地震同時発生の液状化危険度分布図

